

防水性無収縮プレミックス・モルタル

概要

「レンダロック STD」は、英国で初めて開発に成功した世界でも珍しいセメント・モルタルのプレミックスです。第一に、高価で使いにくい樹脂モルタルに代わるものとして、第二には現場の品質管理の向上と配合ミス防止の目的で開発されました。水で練るだけで使い易く、厚塗りしてもだれず、防水性で無収縮です。樹脂モルタルのように硬化剤や特殊プライマーなどの必要は一切なく、極めて経済的で耐火性にも問題はありません。

性状と荷姿

無収縮セメント、粒度調整した砂、フィラー、各種薬剤などから成るグレイ（セメント色）の粉末。25kg 防湿袋入り。

用途

- コンクリート、モルタル、ブロック、ALC、れんが、石材などの補修一般。
- サッシ回りのモルタル詰め。
- タイル、ブロック、れんが、ALCの目地詰め。
- 木コン、セパレーター、打継ぎ部のコーキング。

特長

- プレミックス
水で練るだけで作業が簡単、混合ミスや施工ミスの心配がなく、品質が均一で信頼性が高い。
- 無収縮
広い面積を一度に施工してもクラックや剥離が起こらない。
- 軽量
特殊軽量骨材の採用により比重が 1.8 でだれない。
- 厚塗り可能
一度に垂直面は少なくとも 30mm 厚、天井（下端）面には 20mm 厚に施工できる。穴などは 1 回で最高 100mm 厚まで充填できる。
- 多目的
硬練りから軟練りまで使用水量を変えても最終強度に影響がほとんどない。プライマーはスラリー状に練ってすり込む。
- 高い接着強度
特別に調合されているので接着についての心配はない。

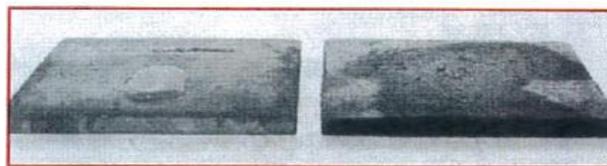
■ 防水性

特別の添加剤の作用により最適密度が得られ、硬化後の表面は撥水性になる。

代表的な物性

A. 撥水性

ASTM C67 による凍結融解 35 サイクル後



レンダロック

1:4 モルタル

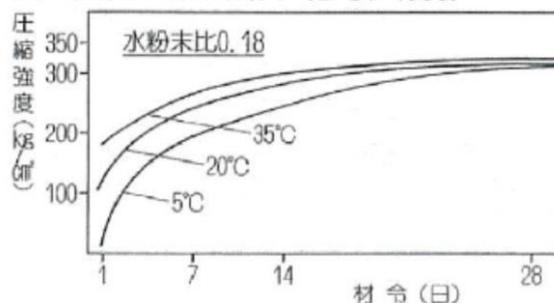
B. 吸水性 (BS.1881)

水頭 200mm 下での初期表面給水量 (cc/m²/秒)

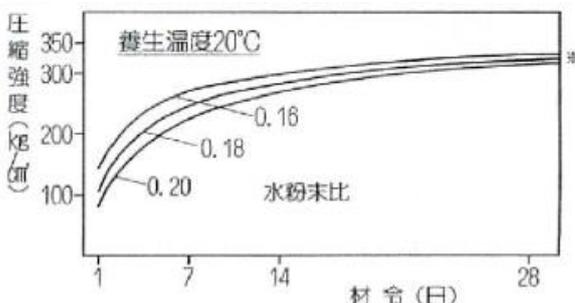
測定時間	レンダロック	1:4 モルタル
10 分後	0.18	1.11
2 時間後*	0.06	0.60

※レンダロックの吸水性は従来のモルタルの 1/10

C. 養生温度と圧縮強度 (BS.4550)



D. 水粉末比と圧縮強度 (BS.4550)



※水粉末比がかなり変動しても同様の結果となる。

E. 曲げ強度と付着強度

試験項目	レンダロック	1:4 モルタル
28 日曲げ強度 (kg/cm ²)	70	45
コンクリートに対する 14 日付着強度 (kg/cm ²)	33	12

※BS.4551 による

F. その他

硬化後の比重	: 1.8 (水粉末比 0.18 の場合)
熱膨張係数	: $7.34 \times 10^{-6}/^{\circ}\text{C}$ (コンクリートと同様)
凝結時間	: 温度や水粉末比によって変わる が、通常 2~4 時間
耐薬品性	: 防水性高密度モルタルと同様

施工手順

■施工フロー



■施工手順

① 下地準備

下地表面は清潔でぼろつきや油脂分などの汚れがないこと。過度のレイタンスはワイヤブラシなどで除去する。また部分補修の場合には補修箇所の端部の塗り厚が少なくとも 5mm になるように研しておく。

② 練り混ぜ

少量 (10kg 以下) の場合には手練りできる。まずバケツの中に水を入れ、続いてレンダロック粉末を徐々に加えながらコテなどで活発に 2 分間練る。さらに水または粉末を追加して作業性を調整する。10kg 以上の場合にはハンドミキサー (500 回転/分以下) またはモルタルミキサーで機械練りする。使用水量は所要の作業性に依りて 1 袋 (25kg) 当たり 4.5~5.5l。容積比ではレンダロック粉末 3~4:水 1 である。工期を急ぐ場合や寒冷時には使用水に 1:10 の希釈率でクイックソクリート D を用いること。

③ プライマー

下地には必ずプライマーとしてスラリー状に練ったレンダロックを硬毛のハケでこすり込んでおくこと。スラリーの配合は上記の通りに練ったレンダロックのミックスにたいして 1/4 容積の水を追加したもの。高温時や下地の吸

水性が激しい場合にはプライマーを塗る前に下地に水を打つこと。

④ 施工

塗ったプライマーがまだ湿っている間にレンダロックを施工すること。万一、プライマーがドライアウトしてしまったら、これを除去してもう一度プライマーを塗る。凸凹のある不規則な下地の場合には、レンダロックを充分締め固めて圧着すること。塗り継ぐ場合は前回に塗ったレンダロックが充分に凝結してからプライマーを塗って塗り継ぐ。塗り継ぎの間隔が長くなる場合には表面を目荒しておく。

⑤ 練り上がり量

使用水量によって若干変わるが、1 袋 (25kg) 当たり約 16l。平均 10mm 厚で約 1.5m²。

⑥ 養生

直射日光や強風によりドライアウトする恐れのある場合及び高温時には施工後 48 時間、シートなどを用いて湿潤状態に保つこと。

⑦ 仕上げ材の施工

施工したレンダロックが充分に硬化乾燥すれば適切な仕上げ材が施工できる。通常 7~14 日後、但しくイックソクリート D を使用した場合は 3~5 日後。

⑧ 洗浄

使用道具などは普通のモルタルの場合と同様に、作業後直ちに水洗いする。

⑦ 保管

レンダロックの袋は密封して乾燥した倉庫に保管すること。

安全衛生上の注意事項

- ・ レンダロックに毒性はないがアルカリ性である。作業中は保護手袋を着用し、皮膚や眼に飛び散らないように注意すること。
- ・ 5℃以下の場合やレンダロックが凝結するまでに降雨の恐れがある場合には作業をしないこと。ただしクイックソクリート D を併用すれば-6℃まで施工可能である。

CREDESCO

クリディエンス株式会社

フォスロック日本総代理店

〒150-0002 東京都渋谷区渋谷 1-1-3-3F

TEL: 03-4590-0200 FAX: 03-3409-3898

URL: <http://www.crdc.co.jp> E-mail: crdc@crdc.co.jp



製造元:

Fosroc Global Trading Limited

改定日: 2011 年 1 月

本製品に関するお問い合わせ、ご用命は